

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

あ

男子 ・ 女子 1 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立コザ高校	27	9 13 1 4 — 8 14 4 3	29	神国大附属高校
		7mTC		

1 回戦、最初の試合は、2 年ぶり 4 回目の出場となる沖縄代表の県立コザ高校と、8 年連続 9 回目の出場となる地元兵庫代表の神戸国際大学付属高校が対戦となった。前半、神国大付属のスローオフで始まった。先取点はコザ、開始 2 分、1 4 番町田のミドルシュートが決まった。1 1 番西田の連続得点などで、8 分までに 4－0 とリード。立ち上がり、得点に恵まれなかった神国附は 2 番青戸、4 番有澤のシュートや GK 田重田の攻守などもあり、1 7 分には 5－5 と追いついた。その後、攻めあうも両チーム堅い守りで得点が伸びない。一進一退の攻防が続き、9－8、コザ 1 点リードで前半を終了した。後半、互いの持ち味である守りからの速攻が機能し、前半とは打って変わり点の取り合いとなった。互角の戦いが続き、1 1 分には 1 6－1 5、コザ 1 点リード。その後、両チーム GK の好セーブなどもあり、得点できない。2 2－2 2 で後半終了、延長戦となった。神国附 2 番青戸の 7 mT が決まり、この試合初めてリードした。勢いづいた神国附は、地元応援団の声援もあり、接戦をものにし 2 回戦へと駒を進めた。

2 9 年 3 月 2 4 日

記載者氏名 小川 健三

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男か

男子 ・ 女子 1 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
鹿児島工業	20	9 11 — — — — 7mTC	17 14 — — — —	不来方

本大会のオープニングを飾るのは、ブロック大会3位同士の対戦。鹿児島工業スローオフで試合開始。両チームの堅いDFによってゲームが動かない。均衡を破ったのは鹿児島工業No.13 谷山のDFの壁を強引に割って入ったシュート。すかさず不来方No.9 平のシュートで応戦。先にペースを掴んだのは不来方。No.7 大西のミドル、No.9 平の個人技で加点。対する鹿児島工業はGK川原の好セーブで耐えるも、パスミスからの速攻を続けざまに受け、不来方に主導権を握られる。鹿児島工業は流れを変えようとTOを2度取るも、不来方の粘り強いDFからの速攻で点差を広げられ前半を終了した。

後半に入り鹿児島工業DFが上がり、足で守るようになって流れを手繰り寄せる。No.13 谷山の連続得点で先制し、左腕No.8 野村のシュートで追いすがる。しかし、不来方はNo.9 平のパスカットからの1人速攻など相手のミスを実に得点し、差を広げる。終始ゲームを支配した不来方が粘る鹿児島工業を振り切り、2回戦に駒を進めた。

29年 3月 24 日

記載者氏名 沖野 勝洋

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

あ

男子 ・ 女子 1 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名				チーム名			
				</			

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

い

男子 ・女子 1 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
小松商業高等学校	28	15 13 — — — 7mTC	9	立命館守山高等学校
		13	22	

今大会初戦、ディフェンス力に自信のある小松商業と速攻主体の立命館守山の戦いとなった。

前半は小松商業高校のスローオフで試合開始。先制点は小松商業。威圧感のあるディフェンスから相手のミス进行、速攻で5番表が先取点を獲得。その後流れのった小松商業は連続で得点を重ねる。

タイムアウトをとった立命館守山は体制を立て直し、4番岩見のポストシュートから怒涛の追い上げを見せ同点となる。そのまま一進一退の攻防が続いたが、小松商業が均衡を崩す。1番キーパーの勘傳の好セーブと4番中島の三連続得点などで優位に試合を進め、前半を15対9で終えた。

後半開始6分ごろ、立命館守山に退場者が出てしまう。このチャンスを逃さなかった小松商業は速攻での猛攻を見せ、20対11とリードを広げる。立命館守山も懸命に足を動かし反撃するが、決定的なチャンスを作ることができないまま時間が過ぎていく。小松商業はこの試合得点の要となった4番中島を温存し、そのまま勝利をおさめた。小柄な選手が多い小松商業であったが、持ち味である連携のとれたディフェンスと速攻で相手を圧倒し2回戦にコマを進めた。

2017 年 3 月 24 日

記載者氏名 日高 優一